

第1113号 平成28年10月1日号 毎月1日発行
JAびえい・くみあいだより 丘の大地
昭和45年3月5日（第3種郵便物認可）



JAびえい

No.1113
10月号

2016
October

丘の大地

JAびえい・広報誌



垂穂に進む収穫作業

— 9/24旭第4青嶋秀雄さん宅の作業から —

- 被災の現状を確認 2
- 焦点 (FOCUS) 3
- 営農ホットライン 4
- 連合会ニュース 5
- 情報カン 8~10
- 農業情報配信サービス 11

美瑛町被災の現状訴える

観測記録を塗り替えた8月の豪雨は、本町はもとより近隣町村や十勝地方にも大きな被害を及ぼしました。その復興には多くの時間と資金が必要とされ、被災地からは国の支援を求める声があがっています。この情勢を受け、政府与党農林水産業災害対策ワーキングチーム北海道調査団(野村哲郎座長) 8名が9月16日被災各地の調査に入りました。

調査団は始めに本町を訪れ、穀類乾燥調製貯蔵施設やとまと選果施設の被災状況を確認しました。浜田町長・熊谷組合長から被災の詳細が報告さ

与党農水災害対策WTに

れ、被害に対する重点的な要望が訴えられました。具体的には農地に対する復旧支援と防災対策、作物収穫に係る農道整備やJA施設被害に係る復旧支援、河川改修工事の早期着手といった内容です。

特に災害復旧について国の費用負担が進められ、緊急性が重視される「激甚災害告示地域指定」が強く求められました。

調査団はこの後、南富良野町のポテトチップス工場被害や、にんじん圃場被害、十勝エリアでは、芽室町・帯広川西の畑作物冠水、札内川堤防決壊現場を視察。続いて北見エリアでは常

呂川堤防決壊現場や同川周辺の馬鈴薯やてん菜の被害状況などを調査し、災害復旧支援の参考にすることをしています。

政府与党災害対策WTメンバー8人に美瑛町被災の現状や早期の復旧で農業生産対策を訴えるJA熊谷組合長



米の初検査 まずは順調スタート

平成28年産の所前検査が9月17日に行われました。今回の被災で浸水や冠水被害を受けた圃場もあり、手ばなしでは喜べないものの、天候推移に気を揉みながら収穫が始まりま



初検査を行うJA民間検査員

した。初検査を受けたのは旭地区の岩本義信さんと、11日から刈取りされた「ゆめぴりか」168袋。気になる初検査の結果は全量一等米で、幸先の良いスタートとなりました。たんばくは6.8%で品質、形質、粒形も良好です。この日の初出荷者は岩本さんを含め4名。全員が一等米出荷となりました。初検査に立会った長谷川部会長は「収量的にやや不安が残るものの素晴らしい出来を喜びたい。」と話していました。

良質乳の生産を誓う 酪農家族懇談会で

酪農家族懇談会が9月15日、JA大ホールで行われました。この懇談会は、飼養管理に忙しい毎日の中の「ひと時の家族交流」を目的に行われているものです。

懇談会は酪農生産部会の畑中守部会長が開会挨拶。続いてJAから浦島専務が農業情勢報告とともに日頃の作業を労いました。

続いてソニー(株)担当者から開発中の牛群管理システムについての説明がなされました。このシステムは、個体識別・発情レコメンド機能や、

健康や傷病の分析、データの個体管理共有を得意とするシステムで、参加者から関心を集めていました。



牛群管理システムに関心を集めた懇談会

焦点 FOCUS

北海道農業を支える新規就農 H 27 年は 2 年ぶり減少に

道農政部は9月初めにH 27 年度の新規就農者実態調査をまとめ公表した。全国的に農業就農者数が大幅な減少を余儀なくされる中で、食料基地北海道としての役割・体制が期待されているが、2年ぶりに減少に転じてしまった。公表の結果では昨年1年間の新規就農者は589人で前年と比較して23人の減少。600人台を割り込むのはH 20 年以来で7年ぶりの出来事としている。

内訳では農業者戸数の減少や少子化による後継者不足を反映し、農業者家庭の出身者（新規学卒者+Uターン就農者）は昨年に続き500人を下回り、加えて新規学卒就農者は189人で過去10年間では初めて200人を下回ってしまった。一方で新規参入者は126人と過去最高だった昨年を1人上回っている。新規学卒就農者は前年比15人の減少で、雇用環境の悪化で300人台となったH 22 年～23 年を除くと減少傾向を余儀なくされている。

Uターン就農者は9人減の274人で、300人前後だった近年の水準から落ち込んでいる。近年、就農者全体の1割程度で推移してきた新規就農者は大幅に増加した。前回の人数をさらに上回り、全体の2割程度を維持している。振興局ごとの地域別内訳では空知99人、上川90人、十勝84人、オホーツク63人、後志56人で5地域が変わらず上位であったものの十勝は前年を大きく下回る結果となった。新規参入者は上川・石狩・後志・日高・空知の順となっている。

新規就農者の推移 (単位：人)

年次	新規就農者			
	新規学卒	Uターン	新規参入	
H 18	695	323	303	69
H 19	650	298	264	88
H 20	599	276	257	66
H 21	611	245	299	67
H 22	700	302	337	61
H 23	678	309	290	79
H 24	626	223	312	91
H 25	603	230	285	88
H 26	612	204	283	125
H 27	589	189	274	126

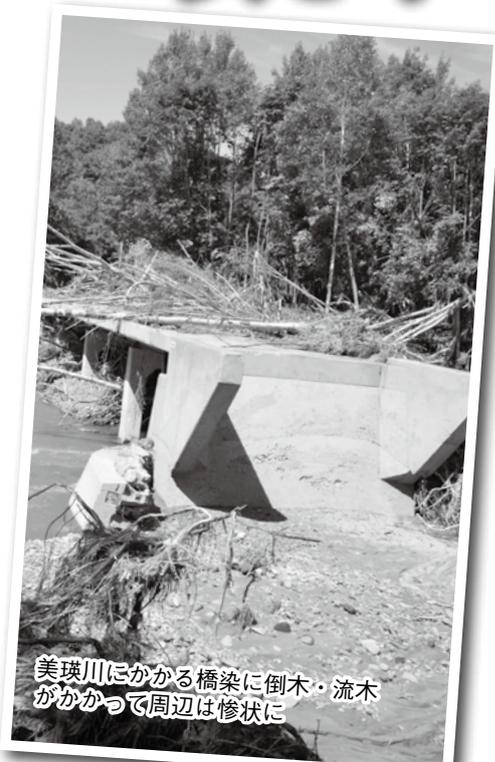
8月19日以降連続して北海道に上陸した台風7号、11号、9号は多くの観測地点で史上最多雨量となりました。本町の農地や畜舎などを襲った濁流は、未曾有の災害をもたらした。その被害は甚大なものとなって

います。
被害面積約70ヘクタールに……
 河川の決壊や橋の崩落をもたらした豪雨は、収穫を前にした水田や畑地を容赦なく襲い、その面積は約70

ヘクタールに達し、再生産に大きな影響を及ぼすものとなりました。8月29日現在で報告された調査結果では、水稲が被害面積の67%を占める46ヘクタールで、畑作物では馬鈴薯、南瓜、アスパラ、トマト等でも浸水、冠

水などとなっています。北海道全域に被害を与えた一連の台風災害を受け、被災の復興に向けた「激甚災害指定」が表明されています。

豪雨の爪痕 大きく



平成 28 年 8 月 20 日～23 日 豪雨被害調査結果

(8月29日現在)

※被害金額は営農計画書に基づき算出

作物	被害面積(a)	被害内容
水稲	4681.6a	完全浸水、冠水他
馬鈴薯	872a	浸水、冠水他
南瓜	469.8a	浸水、冠水他、土砂流入
アスパラ	256.3a	浸水による倒伏他
とまと	186.4a	浸水他
ブロッコリー	130a	浸水他
甜菜	130a	冠水他
大根	130a	土砂とともに流出他
大豆	60a	一部水没
スイートコーン	20.6a	浸水による倒伏他
小豆	20a	冠水
玉葱	15a	玉葱圃場冠水
カリフラワー	10a	雨による水害
その他	15a	冠水他
合計	6996.7a	

畜産

作物	被害面積(a)	被害内容
生乳	4,500kg	

生産技術情報

耐性菌・抵抗性害虫について (菌・虫が強くなった?!)



HOTLINE

10月の技術対策と資材

「〇〇殺菌剤が効かないような気がする」という話は、ときおり聞かれます。この原因として次の4つが考えられます(①~④)。

- ①薬剤の濃度・水量・展着剤等の不適
- ②使用時期の遅れ(予防剤への過言)
- ③作物が弱っていて病気にかかりやすい
- ④耐性菌が出現している

今回は、耐性菌・抵抗性害虫についての情報提供です。ある薬剤がほとんど効かない菌を耐性菌といい、薬剤の効きが低下した菌を感受性低下菌といいます。

耐性菌等の情報概要を、下表に示します。JA配布の防除基準冊子では、農薬成分と成分系統も記載していますので、再確認が重要です。

表 耐性菌・感受性低下菌に関する情報

病害名	作物名	耐性菌関連の道内の情報 (農薬名は剤型を省略)
いもち病	水稻	1) MBI-D系薬剤は、各地で耐性菌を確認。 2) Qol系薬剤は、耐性菌発生リスクが高いため、使用は年1回。
赤かび病、 紅色雪腐病の一種	小麦	1) ストロビーは、耐性菌を広範囲に確認。 2) トップジンMは、耐性菌を広範囲に確認。
うどんこ病	小麦	1) DMI系薬剤(例:チルト、シルバキュア)は、一部地域で感受性が低下。 2) Qol系薬剤(例:アミスター、ストロビー)は、耐性菌を確認。
眼紋病	小麦	1) トップジンMは、耐性菌を広範囲に確認。 2) チルト25の効果は、菌型によって差がある。 3) ユニックス47は、感受性低下・耐性菌出現の地域がある。
灰色かび病	小豆・ 菜豆	1) ジカルボキシイミド系薬剤(例:スミレックス)は、耐性菌が広範囲。 2) フロンサイドは、十勝の一部で耐性菌を確認。
	トマト	1) ロブラール、スミレックスは、耐性菌がほぼ全域に分布。 2) ゲッターは、耐性菌を確認。
軟腐病	(右欄)	1) 作物名:馬鈴しょ、キャベツ、たまねぎ、はくさい、だいこん、 2) スターナは、感受性低下菌が出現している地域があり、連用を避ける。
疫病	馬鈴しょ	メタラキシル剤は、耐性菌が広範囲で確認されている。
褐斑病	てん菜	1) DMI系薬剤(例:ブランダム、ホクガード)は、道東の一部で感受性が低下している。 作用機構の異なる薬剤との体系防除をする。 2) Qol系薬剤(例:フリント25)は、道内で耐性菌を確認
鱗茎さび症	食用ゆり	トップジンMは、耐性菌が全道的に分布している。

抵抗性害虫については、今回は害虫名・作物名のみをお知らせします。

イネドロオイムシ・ヒメトビウンカ(水稻)、コナガ(アブラナ科野菜)、ネギアザミウマ・スリップス(たまねぎ、ねぎ、ブロッコリー、キャベツ、だいこん)

今後に向けては、「同一系統薬剤を連用しない」が基本となります。

(生産資材課 技術相談員記)

JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々の特ピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JA北海道中央会



JAグループ北海道は、「地域から人を減らさない」強い認識のもと、担い手の確保・育成に向けてJA・連合会・中央会が一体となったサポートとして、「担い手確保・育成支援事業」を今年度より実施いたします。

本事業は農家後継者の確保、新たな人材の確保、および担い手農業者の経営課題の解決を図るために、4つのメニューを実施します。

下記の図は「農家後継者親元就農支援事業」のイメージ図です。



JA北海道信連

9月に札幌ドームで「ハッピーママフェスタ」に参加しました。

北海道若手女性農業者集団「LINS」から「食と農のトークショー」と題して、農業や地元の食材の魅力を語っていただき、また、出展したブースでは「ちょリス・グッズ」や「新じゃが」等を、延べ約1600名にプレゼントし、JAバンクのPRも実施しました。



ホクレン

2016年9月12日より、生産者の皆さまに向けて「LINE@」等を利用した情報発信サービスを開始しました。営農情報、スマート農業に関する情報、イベント情報、国内外のマーケット情報等をタイムリーに発信。週に1〜2回程度の発信を予定しており、スマートフォン・PCからご登録いただけます。

今後、各JAへ登録方法を明記したチラシを配布させていただきます。

！登録はこちらから



JA共済連北海道

認知度アップと、幅広い方々に「ひといえ・くるま」の総合保障をご利用していただくため、9月1日から翌年2月15日までの期間限定で、LINEアプリ用「ひとのわぐま」スタンプ（全8種）を無料配信しています。人の輪（絆）を大切に考えているJA共済の新キャラクターです。詳細につきましてはJA共済ホームページ又はJAの共済窓口でご確認ください。



！ダウンロードはこちらから

JA北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報紙「すまいる」を発行しております。年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。

ホームページにバックナンバーを掲載しております。



今月のレシピ

●サンマとキノコのスパゲティ●

作り方

- (1)シイタケは石突きを取り、軸は手で割く。シイタケ・マイタケ・ブラウンマッシュルーム・エノキタケは食べやすい大きさに切る。
- (2)ニンニクは芽を取りざく切り、赤唐辛子は種を取り輪切り、デイルは1cmほどに切る。
- (3)サンマは3枚におろし、3等分に切る。塩・こしょう少々を振り、小麦粉を薄く付ける。温めたフライパンに少量のオリーブ油を敷き、サンマを皮目から両面をこんがり焼き、取り出す。
- (4)たっぷりのお湯に1%の塩(材料外)を加えてスパゲティをゆでる。
- (5)(3)のフライパンの油を拭き取り、オリーブ油とニンニクを入れ、弱火でニンニクの香りが出てきたら、赤唐辛子とアンチョビを加えてアンチョビをほぐす。
- (6)キノコ類を加えて炒め、油が絡んだら(4)のゆで汁を大さじ4〜5杯程度入れかき混ぜる。
- (7)硬めにゆで上げたスパゲティとデイルを(6)に入れて混ぜ、味を調える。
- (8)器に(7)を盛り付け、上にサンマをのせスタチを搾る。



秋の味覚を最高に楽しめる絶品パスタです。海の幸は旬のサンマ、山の幸は香りと食感を楽しめるきのこ類とスタチ。サンマは塩焼きだけではなく、イタリアンでも大活躍。スパゲティはゆで過ぎないようにしましょう。



材料 (3人分)

スパゲティ	240 g	赤唐辛子	1本
サンマ	2尾	デイル	3本
シイタケ	4個	スタチ	適量
マイタケ	100 g	E Vオリーブ油	大さじ2
ブラウンマッシュルーム	3個	塩	適量
エノキタケ	150 g	こしょう	適量
アンチョビ	1片	小麦粉	適量
ニンニク	1片		

家の光図書

今月の新刊

得する!役立つ!



お申し込み
お問い合わせは
JA/営農部まで

インドアグリーンと暮らす 選び方・飾り方・育て方

■TRANSHIP 著
 ■定価 1,728円

インテリアの一部として人気のインドアグリーン(観葉植物)40種を厳選。樹形や葉の大小などの特徴がよくわかる写真とともに、日々の育て方も詳しく解説。自宅にあった理想のグリーンが必ず見つかる。



くだものおいしい作りおき 果実酒・果実酢・ジャム・シロップ

■ワタナベマキ 著
 ■定価 1,296円

季節の果物や野菜をおいしく長持ちさせる、簡単な作りおきレシピ。果実酒や果実酢、ジャム、シロップのほか、コンポートやペーストなど幅広く紹介。作りおきだからこそのアレンジレシピも豊富に掲載。



12月号はW(ダブル)付録!

営農部では、別冊付録がついた『家の光』のとりまとめを行っています。12月号付録は「家計簿(日記付き)」と家の光エンディングノート「わたしノート」、1月号付録は「わが家の定番&新定番漬物」です。

申込み希望の方は、営農部までご連絡ください。なお女性部員の皆さんは、各地区長さんに取りまとめをお願いしています。

申込方法 電話またはFAXで営農部へお申込みください(女性部員を除く)

申込期日 10月13日(木)まで。お早めに!

12月号配本 組合員宅一日一斉皆訪問にてお届けいたします。



窓口

営農部 ☎ 68-7014

JA Biei Information



来春のために農機具の整備を忘れずに!!

研修センターでは、来春にむけ農機具の格納修理受付と牧草用トワイン、

ラップフィルムの取りまとめを行います。

職員が各組合員宅を推進にお伺い致しますのでこの機会にぜひお申し込み下さい。

なお、お申し込みは、別紙折込みの申込書でも受付致しておりますのでお早めにFAXでお申し込み下さい。

詳しくは研修センターまでお問い合わせ下さい。

窓口

研修センター ☎ 92-0588 FAX92-3914

アルーダ旭川感謝フェア&自動車展示会開催決定!

ホクレン油機サービスでは、10月21日(金)・22日(土)の2日間「秋の自動車大商談会」を開催いたします。新車・中古車約180台(目玉車あり!!)、新品・中古農機約600台が集まります!みなさんのご来場をお待ちしております。

日時 10月21日(金) 22日(土)

アルーダ旭川感謝フェアは21日(金)のみ開催

農機商談時間9:00~

場所 ホクレン油機サービス内 特設展示場

住所 旭川市永山2条13丁目

窓口

研修センター ☎ 92-0588

平成28年10月21日(金)・22日(土)
アルーダ旭川感謝フェア
自動車展示会
開催決定!!

※アルーダ旭川感謝フェアについては21日(金)のみの開催です

アルーダ	農機具
新品 中古農機 約600台大展示!!	新車 目玉車あり!! 中古車 約180台大展示!!
商談時間 1日 9:00~15:00	商談時間 1日 9:00~16:00 2日 10:00~16:00
・来場記念品プレゼント ・新品農機、部品 ・小農機具類の卸売展示	・来場記念品プレゼント ・成約記念品プレゼント ・最新車試乗で贈品プレゼント ・お菓子つかひあり(若干限あり)

開催場所 株式会社ホクレン油機サービス旭川特設展示場
旭川市永山2条13丁目 ☎ 92-0588
主催 上川管内農協 株式会社ホクレン油機サービス
旭川県自動車整備連合協会 旭川市旭川支所

秋のオイル・タイヤキャンペーン!

アロックびえいでは、下記の内容にてオイル・タイヤキャンペーンを実施いたします。

ぜひこの機会のご利用をおススメします!

期間 10月1日(土)～11月30日(水)
場所 ホクレン美瑛北町給油所
オートサービスセンター

内容

①オイル交換でBOXティッシュ5箱プレゼント!

さらに、ウォッシャー液補充無料です。

②タイヤ予約・購入(新品・4本セット)でBOXティッシュ10箱プレゼント!

さらに、組換・バランス工賃等無料です。



北町給油所 ☎ 92-2157
オートサービスセンター ☎ 92-2156

窓口

不用農機、部品等 廃棄処分いたします

研修センターでは、農業機械、部品等廃棄物回収処分を行います。不用になった農機具、農機部品、その他ペール缶、空ドラム缶等の回収処分を下記の日程で行います。

受付期間 平成28年10月17日(月)～
21日(金)まで
(受付時間 午前8:30～午後5:00)

回収場所 研修センター横指定地
回収方法 各自持ち込みとし、担当者が立会い確認致しますので必ず事務所にお立ち寄り下さい。また、集荷を希望される方は運賃別途にて回収致します。廃棄処分料金は一部有料となります。
※ 廃タイヤのお引受はできません。

ご不明な点、または詳しい内容につきましては研修センターまでお問い合わせ下さい。

窓口 研修センター ☎ 92-0588

秋の健診のお知らせ

日程 11月14日(月)～18日(金)・21日(月)
会場 美瑛町保健センター(南町1丁目)
対象者 30歳～74歳の町民の方(20歳代の方は特定健診のみ受診できます)
検診項目

1. 特定健診(身体・腹囲計測、血圧測定、血液検査、心電図、医師診察等)
2. 胃がん検診(胃部バリウム検査)
3. 肺がん検診(胸部エックス線検査)
4. 大腸がん検診(便潜血検査)
5. 前立腺がん検診(血液検査)

申込締切 10月24日(月)まで
申込方法 お電話・FAXまたはグリーンセンター
共済窓口(保健センターでも受付可能) ※別紙折込の申込書で受付いたしております。



農協クミカン・貯金引き落としは利用できませんので、当日は現金をお持ちください。

窓口 共済課共済係 ☎ 68-7017 美瑛町保健センター ☎ 92-7000

「必ずチェック 最低賃金！ 使用者も、労働者も」

北海道最低賃金

北海道内で事業を営む使用者及びその事業場で働くすべての労働者（臨時、パートタイマー、アルバイト等を含む。）に適用される北海道最低賃金が次のとおり改定されました。

最低賃金額 時間額 **786** 円

効力発生年月日 平成 **28** 年 **10** 月 **1** 日

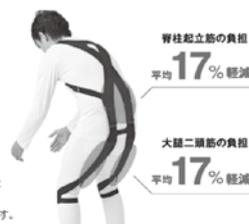
厚生労働省 北海道労働局
 労働基準監督署（支署）

FARM LAND からのお知らせ

03 確かなサポート効果

「楽」につながる2つの筋肉をサポート

荷物（男性10kg、女性6kg）を膝から腰の高さまで持ち上げる実験では、ラクニエを着用することで、前屈姿勢を支える、脊柱起立筋と大腰二筋筋の負担がともに平均17%軽減することを確認しました。これらの2つの筋肉がサポートされることで、前屈作業が楽になります。



サイズ	XS	S	M	L
身長 (cm)	148~157	157~166	166~175	175~184
胸囲 (cm)	72~101	72~101	76~106	80~111



ラクニエ

南瓜の収穫に
 米の積込に最適

腰の負担軽減させませんか？
 デモ品もあります

20,000 円（税抜）

保冷精米機

PRC-30W



寸法：幅300×奥行575×
 高さ1060mm

電源：100V

消費電力：精米：320W / 冷却：75W

重量：約22kg

最大米受け容量：5合5合

玄米で保冷保存するので鮮度長持ち
 いつでも新鮮でおいしいお米が食べられる
 栄養を逃がさない米とぎコース付

メーカー希望小売価格

92,361 円の品

→ **73,889** 円（税抜）

営業時間の変更

10月～2月 平日 8:30～17:00
 土曜日 8:30～12:00
 日祝祭日 休み

ファームランド
FARM LAND JAびえい店

☎ 92-3455 FAX92-3488

窓口

INFORMATION

JA 配置薬のご案内 「ヒトミタン」はコンドロイチン配合の医薬品です!!
 ひざなどの関節や腰の痛み、神経痛、眼精疲労に

ビタミンB1主薬製剤
飲んで効く ヒトミタン

1回1カプセル、1日3回の服用でコンドロイチン硫酸エステルナトリウム900mgと4つのビタミン(B1、B2、B6、B12)を摂取できます。

コンドロイチンは関節などの軟骨、目などにあります。主に各部位の水分を保つことに役立っていますが、加齢とともに減少します。

商品のお問い合わせ・おまめは
 JA北海道厚生連 配薬薬局
0120-99-4193
 または近隣のJA配薬推進員までどうぞ。



●1瓶90カプセル入り(30日分)
 1日当たり216円
6,480円(税込)

●効能・効果
 ・次の諸症状の緩和
 神経痛、筋肉痛、関節痛（腰痛、肩こり、五十肩など）、手足のしびれ、便秘、眼精疲労
 ・脚気
 ・次の場合のビタミンB1の補給
 肉体的疲労時、妊娠・授乳期、病中病後の体力低下時

●用法・用量
 大人(15歳以上)1回1カプセル、1日3回、朝昼晩に服用してください。

ご使用に際しては、説明文書をよくお読み下さい。

JA北海道厚生連 旭川厚生病院

旭川厚生病院は「地域がん診療連携拠点病院」として、PET-CT、256スライスCTの導入をはじめ、H24.10月に道北道東地域において初の緩和ケア病棟を開設、H26.2月には内視鏡センターH27.4月には放射線治療装置(リニアック)の更新を行うなど、訪問看護ステーションとともに医療・保健・福祉活動を通じた総合診療体制を目指しています。

診療科目 計23科
 血液腫瘍内科 ● 代謝内分泌内科 ● 消化器科 ● 循環器科 ● 外科 ● 乳癌外科 ● 呼吸器科 ● 呼吸器外科 ● 整形外科 ● 小児科 (NICU有) ● 神経外科 ● 産婦人科 ● 皮膚科 ● 形成外科 ● 泌尿器科 ● 眼科 ● 耳鼻咽喉科 ● 精神科
 放射線科麻酔科 ● 緩和ケア科 ● リハビリテーション科 ● 病理診断科

平日の他「土曜ドック(隔週)」「男性対象」を開設しました「要予約」
 まずはお電話を。



平日は、なかなか人間ドックを受けられない方に朗報です。旭川厚生病院では、土曜日人間ドックを受ける事が出来る様になりました。また、午前中に検査が終了し、ご帰宅が可能です。当日の結果説明は致しませんが約一週間程で結果書類が郵送となります。健診後も専門の医療スタッフが継続して健康管理をフォローします。

※お使いになっている保険証、またはお住まいになっている市町村によって補助金制度が利用できる場合もあります。また、当院と、契約中の団体は別に料金が定められていますのでご相談下さい。
 ※前立腺がんや膵臓がんなどのオプションも追加可能。

ご予約・お問い合わせは JAびえい共済部 電話 0166-68-7017

農業情報配信サービスのご案内

JAびえいでは、今夏より「農業情報配信サービス」を開始しております。

これは、かねてより組合員の皆様からご要望を頂いておりました、JAからの情報発信のペーパーレス化を実現するものとして導入されました。JAから文書情報が発信された際には、ご登録頂いたメールアドレスに情報発信の通知メールが届くとともに、パソコン・スマートフォン・タブレットなどからWEB上で情報閲覧することが可能になります。

非常に便利なサービスとなっておりますので、是非ご登録・ご利用頂きますようお願い致します。

ご利用のお申込方法

利用希望される正組合員（家族含む）の方は、お手持ちのパソコン・スマートフォン・タブレットから直接下記メールアドレスへメールを送信して頂くようお願い致します。（アドレス入力・記載ミス防止のため）送信者確認のため本文に、組合員氏名とFAX番号の記入をお願いします。

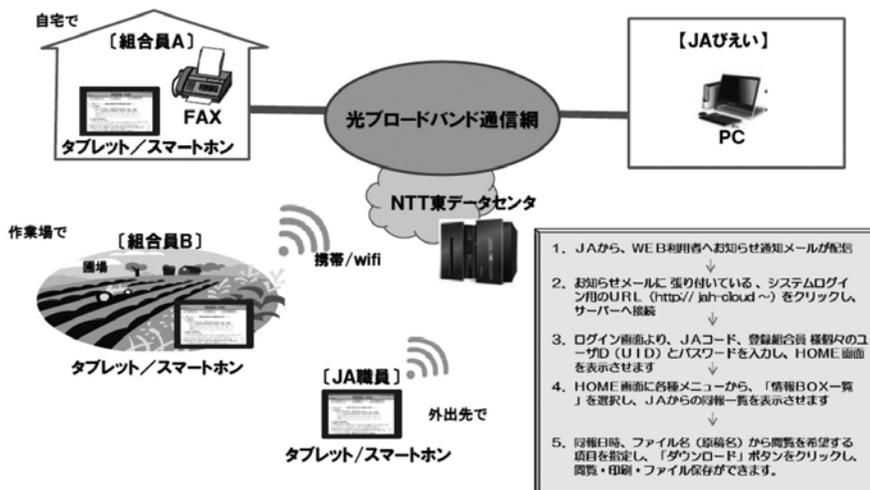
（注）メールアドレスが複数（一世帯3つまで）の場合は、必ずそれぞれの端末機からメールによるお申込みとなります。

メール宛先： ja.cloud@biei.ja-hokkaido.gr.jp

お問い合わせは総務部 0166-92-2111 まで

操作画面のイメージ図

Webサービスのシステムイメージ図



動作環境

端末種別	OS	ブラウザ	必要なアプリケーション
パソコン	Windows 7 Windows 8 Windows 8.1	IE 9.0 IE 10.0 IE 11.0	Adobe Acrobat Reader Ver.10 以上
タブレット スマートフォン	iOS Android		Google Chrome 推奨 Safari 非対応（今後対応予定）

理事会のほうこく

第17回理事会 8月30日(火)

■議案審議事項

議案第1号 リースによる固定資産の賃借について

・原案どおり承認されました。

議案第2号 固定資産の処分(建物除却)について

・原案どおり承認されました。

議案第3号 自動機(ATM)顧客手数料の一部変更について

・原案どおり承認されました。

■協議事項

①平成28年度農畜産物系統全量集出荷推進期間の設定について



発売された「美瑛のおいも」

美瑛のおいも 今年も豚丼味!

今年も美瑛産馬鈴薯を原料にしたポテトチップス、美瑛のおいもが発売されました。定番の「オホーツクの塩®うす塩味」と、今年の新フレーバー「豚丼味」の2種類です。

美瑛選果をはじめ、町内のコンビニ、札幌市内でも販売されています。美瑛選果では1袋135円(税込)で販売。ぜひ一度、ご賞味ください。

美瑛の丘で収穫体験

国立大雪青少年交流の家と美瑛町を舞台に「ユースオブワールド2016」が開催されました。この事業は、日本の青年とアジアの留学生が体験や自然の恩恵を感じながら、人種や国境を越えて友情の輪を深めるもの。その一環として、町内美沢の本山農場・沢尻農園で収穫体験を行いました。参加者は玉ねぎや馬鈴薯が一面に広がる圃場を見て感激の言葉を述べていました。



広い圃場で玉ねぎ収穫を行う参加者



気をつけましょう

農作業 事故発生状況

(9月20日現在)

発生件数	0件(14件)	《10件》
負傷	0人(14人)	《10人》
死亡	0人(0人)	《0人》

()は28年度累計 《 》は昨年同期累計

協同の ちから

◇貯金高	242億55百万円	◇組合員数	正組合員 734人
◇貸付高	76億36百万円		准組合員1,866人
◇出資金	11億9百万円		
◇固定資産	40億25百万円		

※百万円未満四捨五入 (平成28年8月末)

こよみ

10月の主な行事予定

8日(土)	美瑛選果秋の収穫祭~10日
10日(月)	体育の日 上川地区の秋の大収穫祭
12日(水)	美瑛神社御創祀百二十年記念 奉祝祭・記念式典
22日(土)	異業種交流研修「地域課題解決 プロジェクト」最終発表

編集後記

■異常気象を裏付けるような8月後半の台風。上陸や接近は7・11・9・10号の4つでS56年台風を上回る内容となりました。水田や畑地の浸水や冠水、作道の流失で圃場が孤立、橋梁の決壊などその惨状はすさまじいものがあります。家族の皆さんともども出来秋を喜ぶ「秋の収穫期」ですが、被災圃場を農業者魂で収穫する姿には頭が下がります。もうひと頑張り心からのエールを贈ります。■TPPの国会承認が拙速に進められようとしています。ここに来てSBS(売買同時入札)による輸入米の不正流通との報道があり、主食の自国米価格には影響させないとしていた主張と異なる実態が明らかになっています。



Vol.1113
 平成28年10月1日(毎月1回発行)
 昭和45年3月5日第3種郵便物認可
 毎月1日発行
 美瑛町農業協同組合 TEL 0166-92-2111(代)
 〒071-0298 北海道上川郡美瑛町中町2丁目6番32号
 ■発行人/熊谷留夫 ■編集人/総務部 ■印刷所/菊野印刷
 (この購読料30円は賦課金の中で徴収しています)